

令和3年度生活困窮者自立支援制度人材養成研修
都道府県研修に係る担当者研修(前期研修)

沖縄県における人材養成研修

沖縄県子ども生活福祉部保護・援護課
保護・自立支援班 見里 拓哉

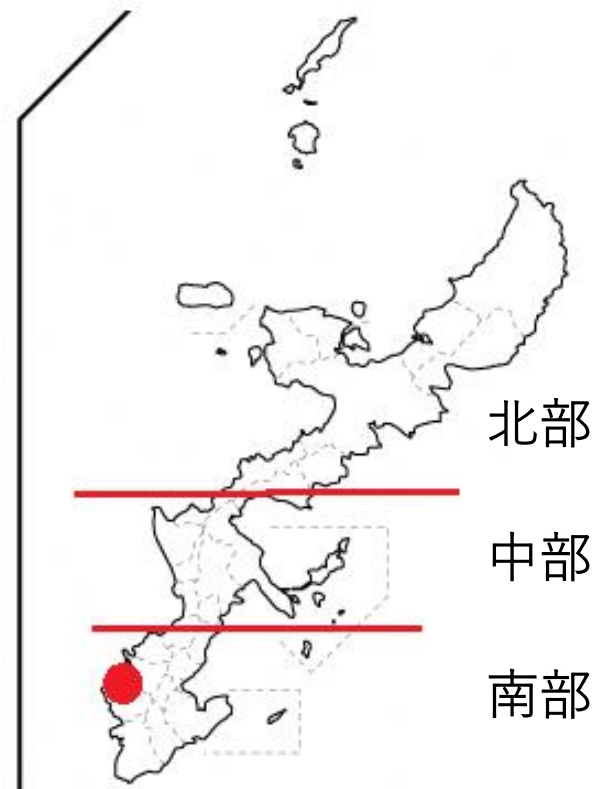


沖縄県の概況 41市町村(11市、11町、19村)

- 人口：1,481,547人 (R2.1.1)
- 東西約1,000km、南北約400kmの
広大な海域に大小160の島々

八重山

宮古



- 自立相談支援機関数：15か所（市部11か所、郡部4か所）
- 令和2年度新規相談受付件数：27,510件←前年度の約6.8倍

沖縄県からの事例報告

- 令和2年度 コロナ禍での研修について
- オンライン研修の導入、課題や成果など
- 令和3年度 研修実施に向けた取り組み



令和2年度 コロナ禍での研修

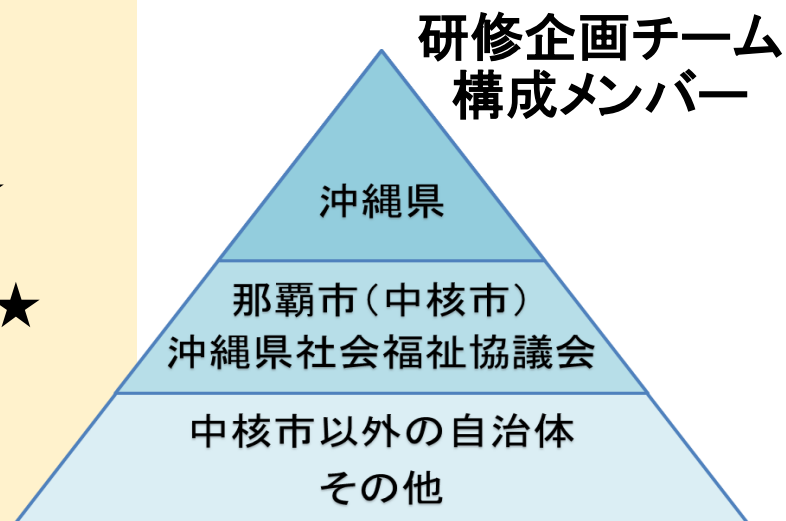
●令和元年度に編成した研修企画チームで企画・立案

令和元年度中にミーティングを行い、次年度初旬の研修内容や役割分担、年間の大まかなスケジュール等について話し合い。

●令和2年度 当初スケジュール

4月(随時)	一次相談窓口支援員研修
5月(上~中旬)	初任者研修
7月	実務者研修 ★
9月~2月	テーマ別(ひきこもり)研修 ★
9月~2月	家計改善支援研修
9月~2月	圏域別研修(5か所で開催) ★

国が定める研修の修了要件(修了証書発行の要件)となる都道府県研修は★マーク



オンライン研修の導入、課題や成果

● どうしようか・・・ 研修企画チーム主メンバーで相談！！

- ・ 感染拡大の収束が見通せない中、集合型の研修の開催は難しいかな・・・。感染症対策のガイドラインはどうなってるかな・・・。
- ・ 国のブロック別研修も活用するが、なんとかして県でも研修を実施したい。
- ・ 小規模での分散開催やオンライン開催など、どんな方法が可能か。
- ・ オンラインの活用は、今後、研修や会議の手段として必須になる。
- ・ オンラインの導入により、研修の開催や参加の方法に選択肢が増える。

令和2年度 コロナ禍での研修



●令和2年度 実施状況①

- ・ 一次相談窓口支援員研修
開催時期を4月から6月へ**延期**。感染症対策を行い**集合型**で実施。
- ・ 初任者研修
開催時期を5月から7月へ**延期**。感染症対策を行い**集合型**で実施。



換気
消毒
フェイスシールド

令和2年度 コロナ禍での研修

●令和2年度 実施状況②

★実務者研修

時期を7月から12月へ**延期**。集合型から、小規模かつ**オンラインと集合型を併用**する方法に変更。

(県外講師と集合会場を繋ぐ)



★テーマ別研修

(ひきこもり ⇒ 一時生活支援事業)

1月に開催。集合型から、小規模かつ**オンラインと集合型を併用**する方法に変更。県外講師ではなく、県内講師による一時生活支援事業に関する研修に変更。

(3つに分けた集合会場をオンラインで繋ぐ)



オンライン研修の導入、課題や成果

●とりあえずやってみよう！ ステップを重ねながら色々と

★実務者研修：県外講師 ⇔ 1か所の集合会場

まずは、県外講師と1か所を繋ぐ1対1のオンラインから！！

【よかった点】

- ・ペアワーク等、参加者間の交流も取り入れながら開催できた。
- ・研修参加者はWeb会議設備等の準備なく、オンライン研修を体験できた。

★テーマ別研修：県内講師 ⇔ 複数の集合会場

次は、講師と複数の会場を繋ぐ方法にチャレンジ！！

【よかった点】

- ・少人数に分けた会場で、対面でのグループワークができた。
- ・ファシリの工夫や講師の協力で、各会場間の交流もできた。
- ・一時生活支援事業の施設の様子を撮影した動画をシェアするなど、施設見学のような要素も交えることができた。

オンライン研修の導入、課題や成果

● やって来て気付いた点

- ・ コロナ禍だからこそ、繋がり場として研修が求められている。
- ・ 事前のテストで準備の抜け・漏れが見つかる。
- ・ 会場レイアウトやマイク・カメラの位置なども要確認。
- ・ 体調管理や換気、他者との距離、休憩時間の過ごし方の声かけなど、感染症対策も忘れずに。
- ・ 全体ファシリ、各会場ファシリ、機器操作担当など、事務局の役割分担や事前調整が大切。

● やって来て初めて気付くこともたくさん！！！！



令和3年度 研修実施の取り組み

●新旧の研修企画チームで令和3年度に向けミーティング

令和2年度チームと令和3年度チームでミーティングを行い、令和2年度の振り返りを踏まえ、令和3年度の研修について意見出し。

	R1		R2		R3		R4		R5		R6	
	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
沖縄県	主・準メンバーは毎年度参画♪											
県社協												
那覇市												
宜野湾市	令和2年度チーム				令和5年度チーム(仮)							
石垣市					令和3年度チーム							
浦添市									令和4年度チーム			
名護市									令和4年度チーム			
糸満市									令和4年度チーム			
沖縄市									令和4年度チーム			
豊見城市	令和2年度チーム											
うるま市	令和2年度チーム											
宮古島市					令和3年度チーム							
南城市					令和3年度チーム							

新旧研修企画チームの重複期間

- ・ 反省点や姿勢の引継ぎ
- ・ 3期のメンバーとの繋がり

令和3年度 研修実施の取り組み

●どんな研修にしていきたいか 振り返りを踏まえて

- ・ コロナ禍での支援について学びたい
「相談者が急増した住居確保給付金、特例貸付など」
- ・ 様々な相談者への支援の方法について学びたい
- ・ 支援する側が孤立しないよう支援したい
- ・ 他自治体や他支援員との意見交換、事例共有をしたい
「オンラインの活用で、離れていても交流できる！」
- ・ 学び、繋がるの時間をしっかり確保したい
「もっとグループワークの時間が欲しかった」

令和3年度 研修実施の取り組み

●初任者研修（令和3年6月16日、7月14日）

【令和2年度との開催方法の違い】

- ・研修参加者はオンライン、講師（研修企画チーム）は一部集合

「グループワークもオンラインでチャレンジ！」
（Zoom：ブレイクアウトルームを活用）

- ・2日間に分けて研修を開催

「基本的な部分 + 新たに伝えたいことも！」
「余裕を持って、学び&繋がりの時間を！」

令和3年度 研修実施の取り組み

●初任者研修（令和3年6月16日、7月14日）

【研修内容】

（1日目）

- ・生活困窮者自立支援制度の概要、基本倫理と基本姿勢
- ・コロナ禍での支援策の変化（住居確保給付金、特例貸付）

（2日目）

- ・システム（帳票類の記入及び集計）について
- ・生活困窮者支援に携わって感じたこと
コロナ禍での支援について など

先が見通しづらい状況が続く中、
試行錯誤で日々奮闘されていることと思います。

こんなときだからこそ、
それぞれの職場や自治体、全国にいる仲間と一緒に、
「学び」と「繋がり」を止めないために、
できることからやってみましょう！

